



松川砂防出張所の仕事

松川砂防出張所は、松川・須川流域の砂防施設の整備を担当しています。松川・須川の上流域は、吾妻山火山活動に伴う噴出物が厚く堆積し、浸食を受けやすい脆弱な地質です。また、支川の蟹ヶ沢上流には、大きな地滑り地帯があります。土砂災害から福島市民の安全な暮らしを守るため、自然環境に配慮しつつ、「砂防ダム」「流路工」「遊砂地」等の砂防施設の工事を進めています。

用語の解説

砂防ダム・・・大水のとき流れてくる大量の土砂を受け止めることによって、土石流や土砂の堆積による川の氾濫を防ぎます。

流路工・・・床固めと呼ばれる段差と、護岸を組み合わせたもので、川の勾配を緩くし、河岸・河床を安定させます。

大水のときは、河岸・河床の浸食や、氾濫を防ぎ、土砂が溪流の外へあふれないようにします。

遊砂地・・・大水の時に大量の土石流を一時的に堆積させ、下流の町や田畑を守ります。

主な工事内容

蟹ヶ沢第7堰堤



松川支川蟹ヶ沢は福島県と山形県の境にあります。上流・中流域には地滑り地形があり、土砂崩れの危険があるため、多数の堰堤が建設されていますが、土砂整備率は半分以下で、さらに砂防施設が必要です。

そのため、既設の蟹ヶ沢第7堰堤の嵩上げ工事が行われています。嵩上げは、新設のより高い堰堤を既設ダムに一体化させて堤高を上げるものです。この工法では既設堤体を利用することができるため、新たに砂防ダムを建設するより、コンクリート量を大幅に節約できます。

高湯第一堰堤



高湯第一堰堤は、奥州三高湯の一つとして高名な高湯温泉地内に建設しています。温泉街を土砂災害から守ることはもとより、人々が利用しやすい水辺空間の形成を図るため、堰堤下流に公園の整備を行う予定です。人々が水辺に安全に近づく緩やかなスロープの護岸や、魚類の生息環境確保のための大石を配置したり、高木を植栽するなど、自然環境に配慮した整備計画が進められています。

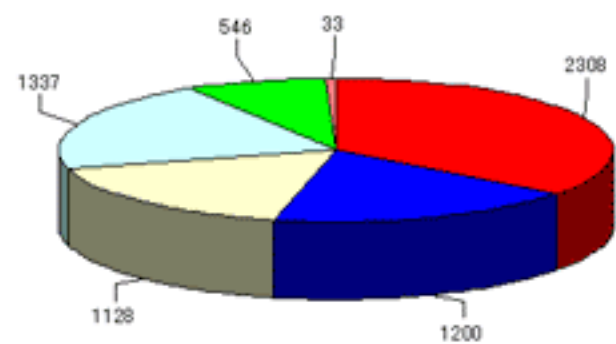
松川流路工



松川流路工は、松川の長老橋～上松川橋の間で施工されています。松川の上流域では、絶えず下流に多量の土砂が流出しているため、扇状地では河床が上昇し、古くから洪水氾濫を繰り返しています。このような松川に対して、昭和39年より流路工の工事が行われ、乱流河道の固定、洪水防御、河床・河岸の安定、土石流の流出防止が図られてきました。今年度は河床を安定させるための帯工工事を実施しています。

福島工事事務所の平成13年度予算

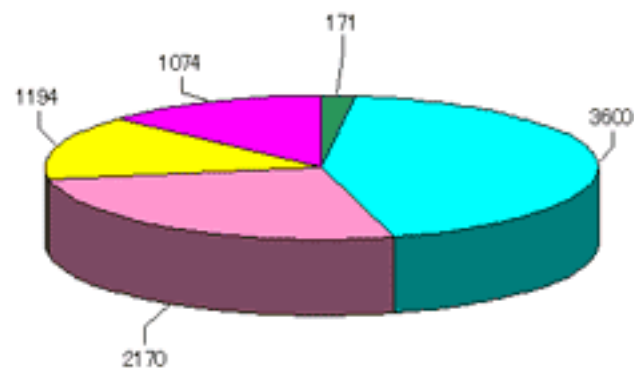
治水事業費(6552百万円)



- 河川改修費
- 河川維持管理費
- 河川災害復旧事業費
- 河川治水調査費
- 河川治水研究費
- 河川工作物関連応急対策事業費

<単位:百万円>

道路事業(8209百万円)



- 雪害地域道路事業費
- 沿道環境改善事業費
- 交通安全施設等整備事業費
- 一般国道道路修繕費
- 一般国道道路維持管理費

砂防事業概略



出張所を囲む自然

福島には、四季を通して私たちを楽しませてくれる自然がたくさんありますね。とても恵まれた環境にあります。

下の写真は、吾妻山や安達太良山に自生する「ヤエハクサンシャクナゲ」です。とてもめずらしい花が咲き、国の天然記念物の指定を受けています。



編集後記

砂防の仕事の概要をわかっていただこうと、出張所ではじめて作成したチラシですが、いかがでしょうか。
 実は私は、今年度から松川砂防出張所で仕事を始めた新参者で、今まで砂防についてなじみがなかったもので、記事を書くにあたり、いろいろ勉強になりました。
 砂防施設は災害が起こった時しか認識されないと言われますが、自然環境にもマッチした整備を行っていますので、目を向けていただければ幸いです。

よってがんしょ！
松川砂防出張所へ

お気づきの点や知りたいことなど
 お気軽どうぞ！！

発行: 国土交通省 福島工事事務所
 松川砂防出張所

〒960-2261 福島市町庭坂字遠原三8-1
 TEL 024-591-1207
 FAX 024-591-5527